

医薬品・医療機器等安全性情報

No.353

ダイジェスト

平成30年(2018年)5月
[厚生労働省医薬・生活衛生局]

医薬品・医療機器等安全性情報No.353が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載される予定ですので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌(7月号)(1,2のみ) 日本病院薬剤師会雑誌(7月号)
日本薬剤師会雑誌(7月号)(1,2,4のみ) 診療と新薬(7月号)

なお、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能です。

1. データベースを利用した小児用医薬品の情報収集と提供の取り組み

小児に対しての医薬品の使用にあたっては、適切な用法・用量等に関する情報が少なく、適正使用のため、その使用実績等の情報が医療現場からも求められている現状です。こうした状況を背景に、国立成育医療研究センターにおいて、小児に用いられる医薬品の安全性情報収集・評価システムの確立を目的としたデータベースを整備する事業を行っているため、その概要について紹介します。

2. 重要な副作用等に関する情報

平成30年4月19日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介します。

3. 使用上の注意の改訂について(その294)

次の医薬品について「使用上の注意」の改訂内容等を記載します。

- ①オマリグリプチン ②サキサグリプチン水和物 ③トレラグリプチンコハク酸塩
他3件

4. 市販直後調査の対象品目一覧

平成30年4月末日現在、市販直後調査の対象品目を紹介します。